

IPv6対応インターネットサービス等の 登録プログラムについて

2009年8月21日

(財)電気通信端末機器審査協会
IPv4アドレス枯渇対応タスクフォース
サービス・ロゴWG

IPv6 Enabled Program 開始

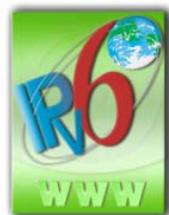


《IPv6 Enabled Program とは》

- “IPv6に対応しているサービス”にロゴを付けIPv6の普及促進を図ることが目的
- 基本はサービスを自己確認して登録する仕組み
- 継続してIPv6対応している事を確認する仕組みを持っている
- 先ずは”WWW”と”ISP”から開始。今後順次拡大予定
- 運用主体は、IPv6 Forum傘下のIPv6 enabled Steering Groupが実施。
(IPv6 Ready Logoの検討・運用を行っているのは、IPv6 Forum傘下のIPv6 Ready Logo Committee)

《Logoマーク》

- 詳細は http://www.ipv6forum.com/ipv6_enabled/ 参照



WWW Logo



ISP Logo



IPv6 Enabled Program

-----New Service



[HOME](#) [WWW](#) [ISP](#) [CONTACT](#)

IPv6 Enabled Program

The [IPv6 Forum](#) IPv6 Enabled Logo program objective is to accelerate deployment of IPv6. The goal of this program is to increase user confidence by demonstrating that IPv6 is available now and is ready to be used.

The IPv6 Enabled Logo program consists of two logo sub-programs: the IPv6 Enabled WWW Logo Program and the IPv6 Enabled ISP Logo Program.

The IPv6 Enabled WWW Logo Program is the first one to be released. Its objective is to encourage adoption of IPv6 on the millions of web sites (WWW) at enterprises, Internet Service Providers (ISPs) and private users helping them to test and check their proper IPv6 readiness and adoption.

NEW! [Internet Evangelist promotes IPv6 to the Web World!](#)

[Test your IPv6 connection via the IPv6 Forum Test IPv6](#)

運用を開始したIPv6 Enabled Program

IPv6 Enabled WWW Logo

The IPv6 Enabled WWW Logo Program integrates two levels: basic and advanced.



IPv6 Enabled ISP Logo

The IPv6 Enabled ISP Logo Program integrates two levels: basic and advanced.





Japan Network Operators' Group

日本ネットワーク・オペレーターズ・グループ

HOME General Information ▾ Meetings ▾ Mailing List ▾ Archive ▾ Resource ▾ Sponsors English Page

Japan Network Operators' Group



2009.07.09-10

JANOG24 Meeting in TOKYO

Japan Network Operators' Group

JANOG24は日本経済新聞社との共催で開催します。

News

[JANOG] 2009.06.18

2009年7月17日にインターネットアーキテクチャ研究会と共同イベントを開催します。

[プログラム](#)

[JANOG24] 2009.05.29

Current Meeting Topic

JANOG24を開催します

開催日程: 2009年7月9日(木)~10日(金)

開催場所: 東京都千代田区

株式会社日本経済新聞社 日経ホール(新社屋)

参加費: 無料(本会議)、有料(懇親会)

主催: JANOG24実行委員会

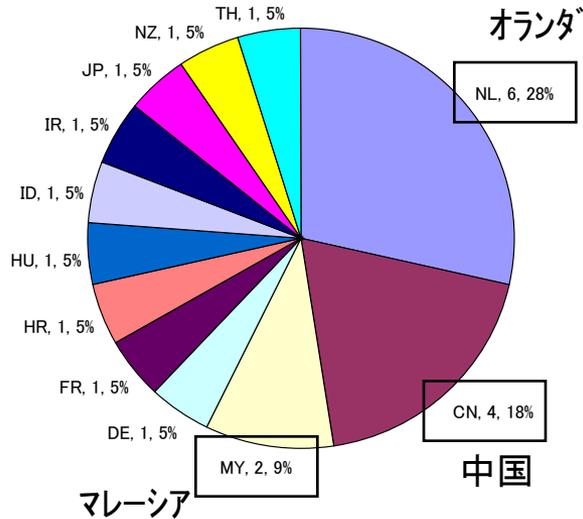


WWW Logoの使用例

<参考:登録状況>

Total:22件

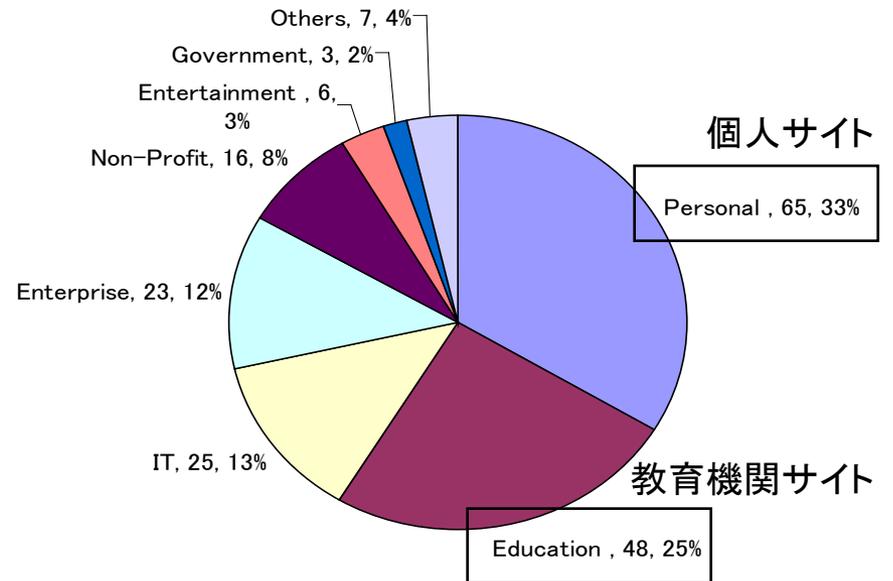
ISPロゴ登録状況



2009年8月20日AM現在

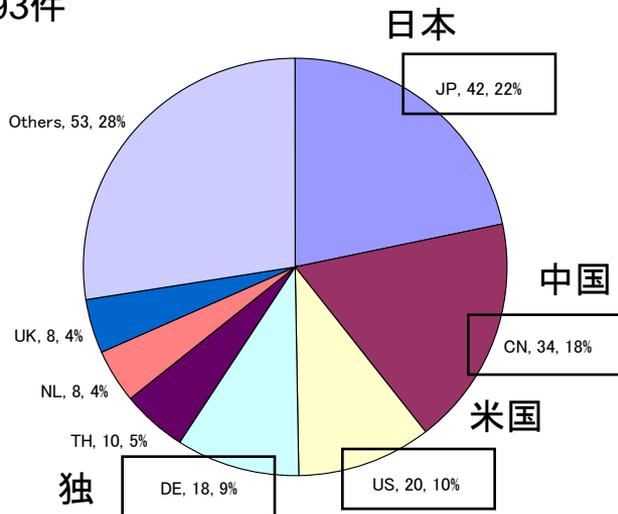
WWWロゴ Tag別登録状況

Total:193件



Total:193件

WWWロゴ 国別登録状況



基本指針とIPv6 Enabled Programの関係

- IPv4アドレス枯渇対応タスクフォースでは、“IPv6に対応しているサービス”にロゴを付けIPv6の利用促進を図ることを目的として、「インターネットサービス等のIPv6対応に係る基本指針(総務省)」に基づいた国内のサービス・ロゴの検討を実施。
- 一方、IPv6 Forum では6月中旬よりIPv6 Enabled Programとして「www(webページ)」と「ISP」について登録プログラムを開始。
- IPv6 Enabled Programの仕様については、基本指針との間に大きな差はないため、日本としてもこれを普及していくことが適当と判断した。

(別紙参照)

基本指針とIPv6 Enabled Programとの相違点

インターネットサービス等	ISPサービス	<p>ISPがメールサービスを提供する場合、「基本指針」では以下の条件を満たすことが必要であるとしているが、「IPv6 Enabled Program」では<u>特に条件を設定していない</u>。</p> <p>“IPv4、IPv6の双方のユーザー間でメールの送受ができるように適切な措置が行われていること”（基本方針）</p> <p>⇒「メールサービスを提供する場合、IPv4、IPv6の双方のユーザー間でメールの送受ができることが望ましい」旨の解説を翻訳サイトに掲示する。 また、今後、条件を追加する方向でIPv6 Enabled Programに提案していく。</p>
	ホスティングサービス、DNSサービス	<p>「IPv6 Enabled Program」の<u>対象とはなっていない</u>。</p> <p>⇒今後、国内でサービス分類を整理し、要求条件を検討してIPv6 Forumにインプットしていく。</p>
Webページ		<p>「基本指針」では以下の条件を満たすことが必要であるとしているが、「IPv6 Enabled Program」では<u>特に条件を設定していない</u>。</p> <p>“他のドメインから情報を取得して表示するようなwebページにおいては、当該情報も含めて、IPv6による通信によって閲覧可能であることが求められる。”（基本方針）</p> <p>⇒「当該Webページ中に含まれる、他ドメインから取得するコンテンツ(情報)に関してもIPv6による通信によって閲覧可能であることが望ましい」旨の解説を翻訳サイトに掲示する。 また、今後、条件を追加する方向でIPv6 Enabled Programに提案していく。</p>

JATEでの翻訳サイトの立上げ



- ・IPv6 Enabled Programは、英文で書かれているため、日本語翻訳サイトを立上げ、サービスロゴ取得の促進を図る。サービスの登録は、翻訳サイトからリンクされているIPv6 Enabled Programのサイトから、英語で登録を行う。また、登録サイトの検索についても、IPv6 Enabled Programのサイトのプルダウンメニュー(英語)で検索する。
- ・ IPv6 Enabled Programと基本指針の差を埋めるための自主的チェック項目を掲示する。
- ・ 英文での入力の際の注意事項・記入例を日本語で提供する。
- ・ 日本語での問合せ対応を行う。(今後、IPv6 Enabled Programでのチェック・アルゴリズムが明確になった場合に実施。)
- ・ 翻訳サイト立上げに際して、報道発表やイベント等での紹介などのプロモーション活動を行う。(9月3日の立上げを予定)



IPv6 Enabled Program

IPv6 Enabled Programの翻訳ページ



Menu

[Home](#)

[日本IPv6認証センター](#)

[お知らせ](#)

[ロゴ取得の手続き](#)

[日本語お問い合わせ](#)

[FAQ](#)

[リンク](#)

[IPv6テストスティング・ラボ](#)

NEW

[お知らせ](#)

[ご利用案内](#)

[お問い合わせ](#)

[IPv6 Ready Logo翻訳情報](#)

[お知らせ](#)・[新着情報](#)

IPv6 Enabled Program翻訳情報

このページでは国際的なプログラムである "[IPv6 Enabled Program](#)" に関する情報を、JATEが独自に日本語化を行い、日本国内向けに発信しています。

IPv6 Enabled Programとは

IPv6 ForumのIPv6 Enabled Logo Programの目的はIPv6の導入を加速することです。

IPv6 Enabled Logo Programは、IPv6が現在利用可能なこと、または利用可能状態にあることを示すことにより、ユーザーの信頼性を高めることを目標としています。

IPv6 Enabled Logo Programは2つのサブプログラムからなります:

- [IPv6 Enabled WWW Logo Program](#)
- [IPv6 Enabled ISP Logo Program](#)

当サイトについて

当サイトでは日本IPv6認証センターからの情報およびIPv6 Ready Logoに関する情報の提供をしています。

IPv6 Ready Logoに関する情報の日本語環境を提供するために、[IPv6 Ready Logo Program\(英文\)](#)のWebサイトをJATEが必要が高いものから翻訳しています。

[IPv6 Ready Logo Program](#)に関する情報の原本はあくまでも英文サイトであり、翻訳が原因で生じる一切の事象に対してJATEは責任を負いかねますのでご了承ください。

IPv4アドレス枯渇

IPv4枯渇時計

▼現在の状況

IANA未割り振りブロック

10%

28/256ブロック

IPv6 Enabled WWW Logo



Basicレベル

- 概要

BasicレベルではIPv6 Enabled WWWロゴ仕様書で定義された申請者のWebサイトのIPv6リーチャビリティを確認します。

スクリプトの実行が成功すると、ロゴIDが割当てられIPv6 Enabled Webページのリストに掲載されます。

- 仕様書(ver.2.0.1)

[原文\(英語\)](#) [日本語訳\(PDF\)](#)

注)IPv6 Enabled Programでは規定されていませんが、次の項目についても確認されることが望ましいといえます。

- 当該Webページ中に含まれる、他ドメインから取得するコンテンツ(情報)に関してもIPv6による通信によって閲覧可能であること。
- [Usage Agreement](#)(対訳形式)
- 申込み方法
 1. IPv6 Enabled Logo WebサイトからIPv6 Enabled WWW検証仕様書をダウンロードする。
 2. オンラインで申込書に記入し、エントリ

IPv6 Enabled ISP Logo



Basicレベル

- 概要

Basicレベルでは、IPv6 Enabled ISPロゴ仕様書で定義された申請者のIPv6サービスを確認します。

スクリプトの実行が成功すると、ロゴIDが割当てられIPv6 Enabled ISPのリストに掲載されます。

- 仕様書(ver.1.0.0)

[原文\(英語\)](#) [日本語訳\(PDF\)](#)

注)IPv6 Enabled Programでは規定されていませんが、次の項目についても確認されることが望ましいといえます。

- サービスに使用するサーバに関して、IPv6インターネット接続環境から利用可能であること。
- サービスに使用するサーバにメールサーバが含まれる場合には、IPv4、IPv6の双方のユーザ間でメールの送受信が出来ること。
- サービスの提供にサーバを用いない場合は、サーバへのIPv6インターネット経由での到達性は問わない。
- [Usage Agreement](#)(対訳形式)